



第260号

目 次

関係法令..... 1	学内諸報.....10
諸会議..... 2	名誉教授の称号授与.....10
学事..... 4	海外渡航者.....11
昭和60年度民間機関等との共同研究について..... 4	昭和60年度富山大学公開講座の実施について.....11
昭和61年度富山大学入学者選抜に関する	田村科学技術振興財団からの助成金について.....16
要項を公表..... 4	職員消息.....16
人事異動.....10	主要行事.....17

~~~~~

関 係 法 令

~~~~~

	(官報掲 載月日)		(官報掲 載月日)
法 律		政 令	
○児童扶養手当法の一部を改正する法律(48)	6・7	○国家公務員等共済組合法施行令等の一部	
○昭和42年度以後における国家公務員等共		を改正する政令(165)	6・7
済組合等からの年金の額の改定に関する		○国家公務員等共済組合法等による年金の	
法律等の一部を改正する法律(49)	6・7	額の改訂に関する政令の一部を改正する	
○著作権法の一部を改正する法律(62)	6・14	政令(178)	6・18
○国家公務員災害補償法の一部を改正する		○国有財産法施行令の一部を改正する政令	
法律(67)	6・18	(202)	6・28
○国民年金法及び特別児童扶養手当等の支		省 令	
給に関する法律の一部を改正する法律(68)	6・18	○電子郵便の取扱いに関する省令の一部を	
○児童手当法の一部を改正する法律(74)	6・25	改正する省令(郵政50)	6・7

第2回学寮補導委員会（6月13日）**（報告事項）**

- (1)寮生との「話し合い」の結果について

（審議事項）

- (1)水道料問題について

第3回大学案内編集委員会（6月15日）**（審議事項）**

- (1)昭和61年度富山大学案内の編集について

第1回職業補導担当者会議（6月17日）**（審議事項）**

- (1)昭和60年度就職関係経費の配分について
(2)全学就職説明会について

第2回附属図書館商議会（6月21日）**（報告事項）**

- (1)第32回国立大学図書館協議会総会について
(2)昭和60年度附属図書館運営費について

（審議事項）

- (1)昭和60年度学生用図書購入費について
(2)昭和60年度参考図書購入費について
(3)昭和60年度基本図書購入費について

第2回相互乗り入れ等検討小委員会（6月21日）**（審議事項）**

- (1)教養部と学部の相互乗り入れについて

第2回情報処理センター運営委員会（6月24日）**（報告事項）**

- (1)学生実習利用負担金について
(2)講演会について
(3)業務予定について

（審議事項）

- (1)昭和60年度運営予算（案）について
(2)専門委員の推薦について

第3回入学試験管理委員会（6月25日）**（報告事項）**

- (1)昭和61年度入学試験問題作成主任委員及び同整理委員について
(2)昭和61年度富山大学案内の編集について

（審議事項）

- (1)昭和61年度富山大学入学者選抜方法並びに第2次の学力検査実施教科・科目について
(2)昭和61年度富山大学入学者選抜試験の選考基準について
(3)富山大学入学者選抜健康診断判定基準の一部改正について
(4)昭和61年度富山大学入学者選抜に関する要項について

第1回入学者選抜方法研究委員会（6月25日）**（審議事項）**

- (1)入学者選抜方法の改善に伴う昭和58年度以降の調査研究事項について
(2)大学入学者選抜方法の改善に関するアンケートについて

第1回体育施設協議会（6月27日）**（審議事項）**

- (1)体育施設の諸問題について
(2)第3体育館について

第5回評議会（6月28日）**（報告事項）**

- (1)昭和60年度国立大学長会議及び国大協第76回総会について
(2)第32回国立大学図書館協議会総会について
(3)昭和61年度入学試験問題作成主任委員及び同整理委員について
(4)学生の動向について

（審議事項）

- (1)富山大学名誉教授称号授与について
(2)富山大学附属図書館工学部分館長候補者について
(3)昭和61年度富山大学入学者選抜に関する要項(案)について

第3回学寮補導委員会（6月28日）**（報告事項）**

- (1)寮生との「話し合い」の結果について

（審議事項）

- (1)水道料問題について

学 事

昭和60年度民間機関等との共同研究について

部 局	民間機関等	研究 題 目	研究期間	研究経費
トリチウム科学センター	アロカ株式会社	電離箱材料に対するトリチウムの吸着(収)一脱離の挙動	60. 7. 13) 61. 3. 31	千円 3,000

昭和61年度富山大学入学者選抜に関する要項を発表

本学は、昭和61年度富山大学入学者選抜に関する要項を7月10日(水)に次のとおり発表しました。

これによると、昭和60年度との主な相違点は、

- ①工学部の共通第1次学力試験の配点を1,000点から500点(各教科100点)としたこと。

- ②理学部数学科において、受験科目数が変更となったこと。

なお、第2次の学力検査等の日程、試験場及び出願手続等の細目を記載した学生募集要項については、本年12月上旬ごろ発表する予定です。

1. 学部・学科等の内容及び入学定員

学 部	学 科 ・ 課 程	入学定員	専 攻 , 講 座 又 は 学 科 目
人文学部	人 文 学 科	90	履修コース 哲学, 日本史学, 東洋史学, 西洋史学, 考古学, 人文地理学, 文化人類学, 言語学, 文化構造論
	語 学 文 学 科	80	
教育学部	小学校教員養成課程	140	専攻教科 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 図画工作, 体育, 家庭, 教育学, 教育心理学
	中学校教員養成課程	50	
	養護学校教員養成課程	20	
	幼稚園教員養成課程	30	
経済学部	経 済 学 科	120	経済原論第一, 経済原論第二, 経済史, 経済政策, 金融論, 財政学, 統計学, 経済地理学, 社会学, 経営学, 流通論, 財務会計, 管理会計, 経営工学, 経営環境論, 国際経営論, 人事管 理, 経営実務論, 基礎法, 財産法, 企業関係法, 倒産関係法, 社会法, 国際取引法
	経 営 学 科	120	
	経 営 法 学 科	60	
理学部	数 学 科	40	代数学及び幾何学, 解析学, 数理統計学, 応用解析学及び電子計算機論
	物 理 学 科	40	固体物理学, 量子物理学, 結晶物理学, 電波物理学, レーザー物理学
	化 学 科	40	物理化学, 構造化学, 分析化学, 有機化学, 天然物化学
	生 物 学 科	30	形態学, 生理学, 細胞生物学, 環境生物学
	地 球 科 学 科	30	地殻構造学, 地殻進化学, 陸水学, 雪水学

学 部	学 科 ・ 課 程	入学定員	専 攻 , 講 座 又 は 学 科 目
工 学 部	電 気 工 学 科	50	電気理論, 電気機器学, 電力工学, 通信工学, 制御工学
	工 業 化 学 科	45	有機工業化学, 有機合成化学, 無機工業化学, 応用物理化学, 環境化学
	金 属 工 学 科	40	金属材料学, 金属加工学, 鉄冶金学, 非鉄冶金学
	機 械 工 学 科	50	材料力学, 機械力学, 流体工学, 熱工学, 動力熱工学
	生 産 機 械 工 学 科	40	切削加工, 工業計測, 塑性加工, 制御機器
	化 学 工 学 科	40	反応工学, 拡散単位操作, 機械的単位操作, 輸送現象
	電 子 工 学 科	40	基礎電子工学, 応用電子工学, 電子素子工学, 電子回路工学
	共 通 講 座	—	応用物理学, 応用数学, 情報処理
合 計		1,195	

2. 入学者選抜方法等並びに第2次の学力検査実施教科・科目

別表 I・IIのとおり

3. 学生募集要項(細目)の発表

募集人員, 出願期日, 第2次の学力検査等の実施期日, 試験場等の細目を記載した学生募集要項は, 12月上旬頃に発表の予定である。

4. 共通第1次学力試験及び第2次の学力検査の配点

教科等		区 分	国 語	社 会	数 学	理 科	外国語	実 技 査	小 計	合 計	
人 文 学 部		共通第1次	100	100	100	100	100		500	950	
		第2次	250				200		450		
教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	共通第1次	200	200	200	200	200	200	1,000	1,400	
	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 英語 専攻)	第2次	200	200	200	200	400		1,000		
		中学校教員養成課程 (数学, 理科, 家庭, 技術専攻)	共通第1次	200	200	200	200	200			1,000
			第2次	200	200	400	200	400			400
中 学 校 教 員 養 成 課 程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)	共通第1次	200	200	200	200	200		1,000	1,400		
	第2次						400	400			
経 済 学 部		共通第1次	100	100	100	100	100		500	800	
		第2次			300		300	300			
理 学 部	数 学 科	共通第1次	200	200	200	200	200		1,000	1,400	
	物 理 学 科 物 理 学 科 生 物 学 科 地 球 科 学 科	第2次			400				400		
		共通第1次	200	200	200	200	200		1,000		
工 学 部		共通第1次	100	100	100	100	100		500	900	
		第2次			200	200		400			

5. 第2次募集の配点

学 部 ・ 学 科	共 通 第 1 次 学 力 試 験					第 2 次 の 学 力 検 査	合 計
	国 語	社 会	数 学	理 科	外 国 語		
理学部物理学科	200点	200点	400点	400点	200点		1,400点

別 表 I

昭和61年度富山大学

選抜方法等 学部・学科名	第 2 次 の 学 力 検 査 等							推 薦			
	第2次 の学力を 課する	実 技 検 査 等			2 段 階 選 抜				入学定員の一部について、出身学 力検査を免除し調査書を主な資料		実 技 検 査 を 課 する
		実 技 検 査 を 課 する	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 する	主として、調査書の内容と共通 第1次学力試験の成績により第 1段階の選抜を行い、その必要 な検査等を行う	第1段階の選抜 による合格者数 定員に 対する 倍率	その他	第2次学力 検査を免除 し、共通第 1次学力試 験を課する	第2次学力 検査を免除 し、共通第 1次学力試 験を免除 する		
人 文 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課 幼稚園 員養成課	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 数学, 理科, 家庭, 技術, 英語専攻)	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
経 済 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
理 学 部	数 学 科 化 学 科 生 物 学 科 地 球 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	物 理 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
工 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

備 考 1. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)

2. 経済学部の推薦入学については、高等学校の専門教育を主とする学科(いわゆる職業科)を昭和61年3月卒業見込み者の内から選抜する。(推薦人員は、1高等学校につき2名以内とする。)

なお、小論文作成のための資料には、英文が含まれる。
また、推薦入学の不合格者は、一般の入学者として第2次の学力検査を受けること

入学者選抜方法等

入 学			推薦入学 募集人員 (又は比率)	帰国子女，社会人の ための特別の選抜		第 2 次 募 集						備 考
校長の推薦に基づき，学 として判定する				帰 国 子 女	社 会 人	入学定員の一部分についてあらかじめこれを 留保し，これについて第2次募集を行う			実 技 検 査 等	第2次 募集 は比率	入 学 定 員 等 に 欠 け 集 集 が 生 じ 第 第 場 合 2 次 募 集 を 行 っ 行 っ	
面 接 を 行 っ	小 論 文 を 課 ず	そ の 他				第2次 の 学 力 を 検 査 す	実 技 検 査 を 課 ず	面 接 を 行 っ				
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	(下記参照)
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
○	○	×	15 名 以 内	×	×	×	×	×	×	×	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	10名	×	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

ができる。ただし，そのためには，あらかじめ，共通第1次学力試験を受験しておくこと。
詳細については，12月上旬頃発表予定の学生募集要項を参照のこと。

3. 理学部物理学科の第2次募集では，第2次の学力検査は行わず，共通第1次学力試験，調査書及び健康診断を総合して判定する。

抜学力検査実施教科・科目

理 学 部										工 学 部						摘 要	
数 学 科		物理学科		化学科		生物学科		地球科学科		電気工学科 機械工学科 生産機械工 学 科 電子工学科		工業化学科		金属工学科 化学工学科			
出題 科目	受験 科目 数	出題 科目	受験 科目 数	出題 科目	受験 科目 数	出題 科目	受験 科目 数	出題 科目	受験 科目 数	出題 科目	受験 科目 数	出題 科目	受験 科目 数	出題 科目	受験 科目 数		
																同一試験時間内に 解答させる。	
○	2	○	2	○	2	○	2	○	2	○	2	○	2	○	2		同一試験時間内に 解答させる。
○	4															同一試験時間内に 解答させる。 「確率・統計」のう ち統計は除く。	
○																	
○																	
○																	
		○			○		○		○	○		○		○	○	同一試験時間内に 解答させる。	
			1	○	1	○	1	○	1		1	○	1	○	1		
																同一試験時間内に 解答させる。	
6	6	3	3	3	3	5	3	5	3	3	3	3	3	4	3		

3. 第2志望の選択
- (1) 教育学部志願者について
 第1志望の受験科目（実技検査を除く）が、他の課程又は専攻の指定する科目と同じである場合のみ第2志望を認める。
 ただし、中学校教員養成課程を第1志望とする者は、小学校、養護学校及び幼稚園教員養成課程を第2志望とすることができない。
- (2) 工学部志願者について
 ア. 「化学」で受験する者には、工業化学科、金属工学科及び化学工学科の3学科間でのみ第2志望を認める。
 イ. 「物理」で受験する者には、工業化学科を除く6学科にわたり第2志望を認める。

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	理 学 部	教 授	高木光司郎	アメリカ合衆国	第7回レーザー分光国際会議出席のため	60. 6. 23 } 60. 7. 1
	トリチウム科学センター	〃	渡辺 国昭	〃	「核燃焼プラズマ研究に必要なPWIデータの収集と評価」ワークショップ出席のため	60. 6. 23 } 60. 6. 30
海外研修旅行	人 文 学 部	助教授	和田 晴吾	アイルランド	西北ヨーロッパにおける長形墳・円形墳の比較考古学的研究のため	60. 6. 2 } 60. 6. 18
	理 学 部	教 授	松浦 郁也	連合王国, オランダ ドイツ連邦共和国 イタリア	モリブデンに関する国際会議における講演及び研究調査のため	60. 6. 21 } 60. 7. 21
	教 養 部	〃	宇尾野逸作	アメリカ合衆国	イースト・ウエストセンター, 文化・コミュニケーション研究所研究員として「異文化同化ワークショップ」と「英語学習円卓会議」における研究発表と研究資料収集のため	60. 6. 24 } 60. 7. 19

昭和60年度富山大学公開講座の実施について

全学的講座として、「現代史に学ぶ(その2)」、「富山の雪を考える」、「21世紀に向かって教育を考える」、「健康・スポーツ教室(ジョギング・硬式テニス・バドミントン)」の4講座を、また、学部の主催する講座と

して、教育学部の「マイクロコンピュータの教育利用—LOGOを学ぶ—」が実施されることになりました。各講座の概要は、次のとおりです。

富 山 大 学 公 開 講 座

現代史に学ぶ(その2)

時の流れは過去、現代、未来と続く1次元1方向性のものであるという捉え方がある。私達が未来につなげる現代をより有意義に生きて行く為には、近い過去である各分野の現代史に学ぶところが多い。その意味で59年度に取り上げた分野と違う各分野の現代史を考察する。

(講 座 の 名 称)

現代史に学ぶ(その2)

(開 設 期 間)

昭和60年10月18日(金)~11月9日(土)

(開設日数及び時間帯)

10日間、午後6時~午後8時

(ただし、11月9日(土)は14時~16時)

(募 集 人 員)

一般成人 70名(先着順)

(会 場)

富山大学工学部 101講義室

(受 講 料)

3,000円 講習料の分納はできません。なお、既納の講習料は還付しません。

(申 込 期 間)

昭和60年9月17日~10月17日

(申込み・問合せ先)

☎930 富山市五福3,190 富山大学庶務部庶務課まで
☎(0764)41-1271(内線 205,206)

(講 座 内 容)

回数	期 日	講 義 題 目	講師氏名	所 属・職 名
1	10月18日(金)	胡麻の現代史	小 林 貞 作	理 学 部 教 授
2	21日(月)	自由社会と労働法	小 蔭 典 明	経 済 学 部 助 教 授
3	23日(水)	正義論の系譜と現代的正義	駒 城 鎮 一	教 養 部 教 授
4	25日(金)	中国の現代文学史	三 寶 政 美	人 文 学 部 教 授
5	28日(月)	生活における省エネルギー技術の動向	宮 下 尚	工 学 部 助 教 授
6	30日(水)	過去100年間に発生した集団ヒステリーについて	中 村 剛	保健管理センター教授
7	11月1日(金)	日本人と衣服	松 川 三 郎	教 育 学 部 助 教 授
8	6日(水)	磁性の現代史	佐 藤 清 雄	理 学 部 教 授
9	8日(金)	日本経済の現代史	佐 藤 良 一	経営短期大学部助教授
10	9日(土)	材料科学における最近の進歩	大 岡 耕 之	工 学 部 教 授

富山の雪を考える

56, 59豪雪に続いて60年にも大雪に見舞われ、雪についての対策と研究もまた本格的な取り組みがはじまっているが、大学内でもこれまでの個々の研究を総合化しようとする動きが出てきた。この公開講座ではその研究内容を中心に報告するとともに「克雪」「富山まちづくり」を受講者の皆さんとともに考えたい。

(講 座 の 名 称)

富山の雪を考える

(開 設 期 間)

昭和60年10月22日(火)～12月10日(火)

(開設日数及び時間帯)

15日間、午後6時～午後8時

(募 集 人 員)

一般成人 70名(先着順)

(会 場)

富山市民学習センター(旧富山市民病院跡)

(受 講 料)

4,000 円 講習料の分納はできません。なお、既納の講習料は還付しません。

(申 込 期 間)

昭和60年9月20日～10月21日

(申込み・問合せ先)

☎930 富山市民五福3,190 富山大学庶務部庶務課まで

☎(0764)41-1271 (内線 205, 206)

(講 座 内 容)

回数	期 日	講 義 題 目	講師氏名	所 属・職 名
1	10月22日(火)	北陸の雪	藤 井 昭 二	教 養 部 教 授
2	24日(木)	雪の性質(1) 雪の利用, 活用の展望	對 馬 勝 年	理 学 部 助 教 授
3	29日(火)	雪の性質(2) スキー・スケートは何故するか	”	”
4	31日(木)	なだれ(1)	中 川 正 之	理 学 部 教 授
5	11月5日(火)	なだれ(2)	川 田 邦 夫	理 学 部 助 手
6	7日(木)	実験室公開(於: 富山大学)	中川, 對馬, 川田	
7	12日(火)	南極の雪氷	川 田 邦 夫	理 学 部 助 手
8	14日(木)	雪の化学	水 谷 義 彦	理 学 部 教 授
9	19日(火)	雪と植物	小 島 覚	教 養 部 教 授

回数	期 日	講 義 題 目	講師氏名	所 属・職 名
10	11月21日(休)	企業の雪対策	多々 静 夫	工 学 部 教 授
11	26日(火)	地域社会の変化と雪対策	中 藤 康 俊	経 済 学 部 助 教 授
12	28日(休)	雪国における街づくり	實 清 隆	教 育 学 部 助 教 授
13	12月3日(火)	雪と条例	萩 野 聡	経 済 学 部 助 教 授
14	5日(休)	富山の都市構造と「克雪」政策	桂 木 健 次	教 養 部 教 授
15	10日(火)	雪についての懇談会	座 長 藤 井 昭 二	

21世紀に向かって教育を考える

教育の見直しが政府をはじめ各界で行われている。
このような時期に21世紀を指向するため現代の教育が
どのような問題を含んでいるかをできるだけ基礎的に
市民の皆様と考えたい。

(講 座 の 名 称)

21世紀に向かって教育を考える

(開 設 期 間)

昭和60年9月18日(水)～10月11日(金)

(開設日数及び時間帯)

10日間、午後6時～午後8時

(募 集 人 員)

一般成人 70名(先着順)

(講 座 内 容)

回数	期 日	講 義 題 目	講師氏名	所 属・職 名
1	9月18日(水)	I 学歴社会から学習社会へ ① 学歴社会の理論と構造	山 野 井 敦 徳	教 育 学 部 助 教 授
2	20日(金)	② 現代青少年の意識と問題行動 (登校拒否・非行など)	塚 野 州 一	教 育 学 部 助 教 授
3	25日(水)	③ 学習社会の展開	山 野 井 敦 徳	教 育 学 部 助 教 授
4	27日(金)	II 文化と教育 ① 文化と教育	観 山 雪 陽	教 養 部 教 授
5	30日(月)	② 教育と文化	大 塚 恵 一	工 学 部 教 授
6	10月2日(水)	③ 技術(テクノロジー)と教育	吉 田 順 作	工 学 部 教 授
7	4日(金)	④ 教育と技術(テクノロジー)	宮 崎 州 弘	教 育 学 部 助 教 授
8	7日(月)	⑤ 自由と教育	武 井 勲	経 済 学 部 助 教 授
9	9日(水)	⑥ 教育改革の展望	屋 敷 平 州	教 育 学 部 教 授
10	11日(金)	III 教育を考える シンポジウム	座 長 大 塚 恵 一	

(会 場)

富山大学教育学部第2講義室

(受 講 料)

3,000円 講習料の分納はできません。なお、
既納の講習料は還付しません。

(申 込 期 間)

昭和60年8月15日～9月17日

(申込み・問合せ先)

〒930 富山市五福3,190 富山大学庶務部庶務課まで

☎(0764)41-1271(内線 205,206)

健康・スポーツ教室

市民のスポーツに対する関心を高め普及するため、ジョギング、硬式テニス、バドミントンを選んで、それぞれ専門的な理論、実技の指導を行う。

(講座の名称) 健康・スポーツ教室

(開設コース・募集人員・受講対象等)

開設コース名	募集人員	受講対象者	備 考
ジョギングコース	20名	一 般 男 女	
硬式テニスコース	40名	一 般 女 子	テニスシューズとボール2個持参, ラケットは貸出可
バドミントンコース	20名	一般男女(初心者)	ラケットは貸出可

(開設期間)

- ・ジョギングコース 昭和60年9月17日(火)～10月4日(土)の下記日程の9日間
- ・硬式テニスコース 昭和60年8月22日(木)～8月26日(月)の下記日程の5日間
- ・バドミントンコース 昭和60年9月17日(火)～9月25日(水)の下記日程の7日間

(日程・開講時間)

コース	9/17(火)	19(木)	24(火)	26(木)	28(土)	30(月)	10/2(水)	4(金)	5(土)
ジョギングコース	6:00～ 8:00 2時間	6:00～ 8:00 2時間	6:00～ 8:00 2時間	6:00～ 8:00 2時間	6:00～ 8:00 2時間	6:00～ 8:00 2時間	6:00～ 8:00 2時間	6:00～ 8:00 2時間	16:00～ 20:00 4時間

コース	8/22(木)	23(金)	24(土)	25(日)	26(月)
硬式テニスコース	9:00～13:00 4時間	9:00～13:00 4時間	9:00～13:00 4時間	9:00～13:00 4時間	9:00～13:00 4時間

コース	9/17(火)	18(水)	19(木)	20(金)	21(土)	24(火)	25(水)
バドミントンコース	9:00～ 12:00 3時間	9:00～ 12:00 3時間	9:00～ 12:00 3時間	9:00～ 12:00 3時間	9:00～ 12:00 3時間	9:00～ 12:00 3時間	9:00～ 11:00 2時間

(会場)

- ・ジョギングコース 富山大学グラウンド(雨天の場合は第1体育館)
- ・硬式テニスコース 富山大学テニスコート(雨天の場合は第2体育館)
- ・バドミントンコース 富山大学第1体育館

(受講料) 3,000円 講習料の分納はできません。なお、既納の講習料は還付しません。

(申込期間) 昭和60年7月22日～8月21日

(ただし、ジョギングコース及びバドミントンコースは、9月14日まで受け付ける)

(申込み・問合せ先) ☎930 富山市五福3,190 富山大学庶務部庶務課まで ☎(0764)41-1271(内線205,206)

(講座内容)

ジョギングコース 教育学部 教授 山地啓司

ウォーミングアップの方法、トレーニング方法とスケジュールの作り方、走り方、コースの選定法、シューズの選び方、レースへの参加と準備の進め方等について

硬式テニスコース 教育学部 助教授 山下三郎 教養部 助教授 北村潔和

体力診断及び体力増進法、ストロボ等による技術診断、実技では各種ストローク、サーブ、ボレー、スマッシュ等の基礎技術とゲームの進め方

バドミントンコース 教養部 助教授 福田明夫 教育学部 助教授 西川友之

バドミントンを始めるための知識、フライントと基本ストローク・ショット、構えとフットワーク、ゲームの進め方と審判、勝つための理論と戦法、トレーニングとプログラム

富山大学教育学部公開講座

マイクロコンピュータの教育利用
—— LOGOを学ぶ——

近年、情報化社会が進展し、学校教育においてもマイクロコンピュータの普及が急速な勢いで進んできております。このような状況をふまえ、この度、富山大学教育学部では、小・中学校の先生方を対象に「マイクロコンピュータの教育利用—LOGOを学ぶ」という公開講座を開きます。本講座は、教育用コンピュータ言語として注目を集めているLOGO言語について学び、具体的な教材作成技法を修得するとともに、その望ましい活用方法、新しいコンピュータ利用教育の可能性などについて考えていこうというものです。プログラミングに関する知識はまったく必要ありません。マイクロコンピュータの教育利用に関心のある諸先生方の多数の参加を期待いたします。

記

講座の名称 マイクロコンピュータの教育利用 —— LOGOを学ぶ——
 開設期間 昭和60年8月26日(月)～8月28日(水)
 募集人員 小・中学校の現職教諭 40名(先着順)
 会場 富山大学教育学部附属教育実践研究指導センター(富山駅よりバス又は電車で15分、駐車場有)
 講師 富山大学教育学部 助教授 山西潤一
 日程

月 日	時 間	内 容
8月26日(月)	午前9時～午後4時	・LOGOとは、 ・LOGOプログラミング入門(I) —手続きを作る— ・LOGOを生かした教材開発(I)
8月27日(火)	午前9時～午後4時	・LOGOプログラミング入門(II) —リスト処理— ・LOGOを生かした教材開発(II)
8月28日(水)	午前9時～正午	・LOGOを使った新しい教育の可能性

受講料 2,500円(受講料の分納はできません。なお、既納の受講料は還付しません。)
 受講申込み 受講希望者は受講届けを8月10日(土)までに下記教育実践研究指導センターあて郵送下さい。
 希望者多数の場合は受講届けをコピーして使用下さい。

〒930 富山市五福3190
 富山大学教育学部
 附属教育実践研究指導センター
 公開講座 係

問合せ先 同上 教育実践研究指導センター 山西まで
 ☎ 0764-41-1271 内線542, 540
 なお、上記不在の場合は、教育学部庶務係 内線362, 363へ照合ください。

主 要 行 事

本 部

- | | |
|---|---|
| <p>6月2日 第9回体育祭</p> <p>3日 国立大学協会理事会（於 国立大学協会）
第42回国立大学学生部次長協議会
（於 東京工業大学）
当初予算配分に係る事前説明会</p> <p>4日 国立大学学生部次長・課長・国立高等専門学校学生課長会議
（於 東京医科歯科大学）</p> <p>4～5日 概算要求ヒアリング</p> <p>5日 定期健康診断（工学部（高岡地区）の全職員）（内科検診，尿，血圧測定）</p> <p>5～6日 施設担当部課長会議
（於 東京医科歯科大学）</p> <p>5～7日 国立大学入学者選抜研究連絡協議会第6回大会（於 電気通信大学）</p> <p>6～7日 留学生交流研究協議会（於 岐阜市）</p> <p>7日 第1回施設整備委員会
第1回大学院委員会
第4回評議会
定期健康診断（人文学部，理学部の男子職員）（内科検診，尿，血圧測定）
文部省北陸地区共同事業体育大会運営委員会（於 金沢大学）</p> <p>10日 第2回入学試験管理委員会（持ち回り）</p> <p>11日 廃水処理室運営委員会・同専門委員会合同委員会
第1回文化部会
第29回中部地区学生補導厚生研究会東海・北陸地区研修会運営委員会
（於 富山医科薬科大学）</p> <p>11～12日 国立学校及び所轄機関等庶務部課長会議
（於 東京医科歯科大学）</p> <p>13日 第2回学寮補導委員会</p> <p>14日 定期健康診断（教育学部，経済学部の男子職員）（内科検診，尿，血圧測定）
東海・北陸地区国立大学学生部次長・課長</p> | <p>会議（於 名古屋大学）</p> <p>15日 第3回大学案内編集委員会</p> <p>17日 部課長会議
第1回職業補導担当者会議</p> <p>18日 第25回国立短期大学協会定期総会
（於 東京農林年金会館）</p> <p>19日 文部省共済組合主管課長会議
（於 青山会館）
全学就職説明会
定期健康診断（工学部（高岡地区）の全職員）（内科検診，尿，血圧測定）</p> <p>19～20日 国立大学協会第76回総会
（於 国立教育会館）</p> <p>21日 国立大学長会議（於 国立教育会館）
第2回相互乗り入れ等検討小委員会
庶務係長会議</p> <p>22日 国立大学協会第43回事務連絡会議
（於 東京医科歯科大学）</p> <p>24日 第2回情報処理センター運営委員会</p> <p>25日 第3回入学試験管理委員会
第1回入学者選抜方法研究委員会</p> <p>27日 第1回体育施設協議会
第2回会計係長会議
定期健康診断（工学部（五福地区），教養部の男子職員）（内科検診，尿，血圧測定）</p> <p>28日 第5回評議会
第3回学寮補導委員会</p> |
|---|---|

人 文 学 部

- 6月5日 大学院設置推進委員会
教授会
人事教授会
- 7日 職員定期健康診断
- 12日 人事教授会
コース代表者会議
- 7月
26～5日 コース別オリエンテーション

29日 紀要委員会

教育学部

- 6月6日 日本教育大学協会第二部会理事会及び評議員会（於 東京学芸大学）
- 7日 日本教育大学協会代議員会
（於 湯島会館「東京ガーデンパレス」）
- 10日 富山大学教務委員会教職科目専門委員会
- 12日 予算委員会
- 13～14日 昭和60年度春季全国国立大学教育学部長会議（於 長野県山ノ内町）
- 14日 附属中学校教育研究協議会
職員定期健康診断
- 17日 紀要編集委員会
- 18日 学部将来計画委員会
学部補導委員会
- 19日 学部教務委員会
教授会
人事教授会

経済学部

- 6月5日 学生定期健康診断
- 12日 学部教務委員会
各種委員選考委員会
教授会
- 14日 学部将来構想検討委員会
職員定期健康診断
- 17日 財務委員会
- 20～21日 昭和60年度春季国立11大学経済・経営学部長及び事務長会議
（於 長崎大学）
- 21日 学部将来構想検討委員会
- 24日 日本海経済研究所運営委員会
財務委員会
- 25日 学部将来構想検討委員会
- 26日 学部教務委員会
人事教授会
教授会

理学部

- 6月7日 職員定期健康診断
- 12日 ガラス工作室運営委員会
- 19日 人事教授会
- 26日 立山研究室運営委員会
学科主任会議

工学部

- 6月5日 工学研究科委員会
選考委員会
学部教務委員会
職員定期健康診断（高岡地区）
- 6～7日 中部圏国立大学工学系事務協議会
（於 岐阜大学）
- 12日 北陸信越工業教育協会富山県支部幹事会
- 18日 係長連絡会
- 19日 職員定期健康診断（高岡地区）
- 20日 北陸信越工学部長懇談会
- 20～21日 北陸信越工業教育協会理事会・評議員会及び通常総会
- 27日 職員定期健康診断（五福地区）

教養部

- 6月11日 講演会
演 題：深まる核危機を前にして
講 師：具島兼三郎氏
（九州大学名誉教授，前長崎大学長）
- 12日 視聴覚教育委員会
予算委員会
学生定期健康診断
- 19日 推薦委員会
人事教授会
教授会
- 26日 教授会
人事教授会
親和会総会
- 27日 職員定期健康診断

附属図書館

- 6月10日 係長事務打合せ
13～14日 第32回国立大学図書館協議会総会
（於 名古屋市中小企業振興会館）
19日 富士通SEとの打合せ
21日 第2回附属図書館商議会

トリチウム科学センター

- 6月5日 放射線作業従事者健康診断
（於 富山市民病院）

保健管理センター

- 6月5日 学生定期健康診断（経済学部）
7日 職員定期健康診断
12日 学生定期健康診断（教養部）
14日 職員定期健康診断
26日 健康相談（眼科）
27日 X線直接撮影
職員定期健康診断
28日 健康相談（耳鼻科）

経営短期大学部

- 6月13日 奨学生選考委員会
18日 国立短期大学協会定期総会
（於 東京農林年金会館）
20日 教授会

◎ 構内での自動車等の運転は、教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法、歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう！！

◎ 退庁、退室の際には、戸締りの徹底・電気、ガスの消し忘れ、タバコの吸殻の後始末に十分注意し、盗難の防止・火災の予防に心がけましょう！！

◎ 電気、ガス、水の省エネ・省資源に協力しましょう！！



編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 中央印刷株式会社
富山市下奥井1-4-5
電話 32-6572(代)